



## ニワトリと卵は、どちらが先に生まれたの

### ニワトリの先祖はセキショクヤケイ

地球に生き物が現れてから、長い間かかって鳥の先祖が現われ、そこからニワトリの先祖が生まれて、人間に改良されたりしながら、やっと、今いるニワトリが現れました。

ニワトリの先祖は、東南アジアのあちこちに野生で生きている、セキショクヤケイといわれています。このほかに、インドのハイロヤケイや、ほかの種類の遺伝子(親の性質や体質を伝えるもの)も、混じっているとされています。

### 卵が先か

このセキショクヤケイは、羽の色が赤かったので、セキショクという名前がついています。この赤い羽をもったニワトリの先祖から、今よく見る白いニワトリが生まれてきたとすると、少しずつ羽の色が変化して、白いニワトリに近い色になってきたはずですが、生き物は、とつぜん、親とちがった性質や色や形を一部にもった子どもが、生まれることがあります。また、こうした新しい変化が、次々と子孫に伝わることもあるのです。ですから、赤い羽の親鳥の卵から、白いニワトリが生まれることも不思議ではありません。その変化が、今までより、生きていくのに便利な変化であれば、その生き物は生き残っていきます。

白いニワトリは、白くなかった親鳥が産んだ卵から産まれてきたので、卵が先に産まれたといえるでしょう。(監修・今泉 忠明)

